

(別添2)

事業評価の結果(内容評価項目)

福祉サービス種別 保育所
事業所名 松島保育園

第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【保育所】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
 「b」評価・・・aに至らない状況=多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	1 保育内容	(1) 全体的な計画の作成	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 2 全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 3 全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 4 全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 5 全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の作成に生かしている。	・箕輪町の中心の松島地区にあり規模は町内で最も大きく、保育サービスの種類も多く中核の保育園である。 ・松島保育園が目指す「保育理念・保育方針すべき考え方や姿勢を明示して、保育の内容、保育の役割等を掲げている。グランドデザインには、子ども一人ひとりを大切に、保護者や地域に愛される保育園を目指すことを明記し、年齢ごとの保育目標が示されている。心身ともに健やかに育成されるよう乳幼児期の教育・保育を行うほか、切れ目のない子育て支援に取り組む考えを読み取ることができる。 ・「全体的な計画」には、保育理念・保育方針が明記され、実践と評価の振り返りを行うなど、継続的な取り組みを行っている。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1	(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 6 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を、常に適切な状態に保持している。	<p>・平成11年4月、松島西保育所と松島東保育所が統合し、事業を開始した。町内では一番大きな保育園である。20年以上が経過しているが、施設の老朽化はあまり感じられない。建物は木のぬくもりがそこかしこに感じられる保育環境の中、のびのび生活を送っている。</p> <p>・各保育室にはクーラーや加湿空気清浄機が設置されている。未満児の部屋には一部畳が敷かれ、ゆっくりとくつろげる場所がある。各部屋には絵本が置かれ、食後の時間には絵本を見ながら静かに過ごしている。幼児用トイレは洋式化となっていて、手洗い場の蛇口も使いやすさを考えた造りとなっている。</p>
					<input checked="" type="checkbox"/> 7 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 8 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 9 内装等には、木材を利用している。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 10 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 11 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 12 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。					
		一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 13 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。	<p>・0歳児から5歳児まで、子どもの発達年齢に合わせた「子どもの保育目標」を定め、それぞれ、月間指導計画を策定している。一人ひとりの状態に合わせて、家庭環境にも配慮を行いながら、保育を行っている。職員は子供の声を聞き、気持ちに寄り添いながら、対応している。</p>	
	<input checked="" type="checkbox"/> 14 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 15 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 16 子ども欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 17 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 18 せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。					

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1	(2)	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 19 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 20 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 21 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 22 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 23 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。	・「みのわっ子チャレンジ事業」を推進している。笑顔いっぱい主体的な子どもを目指している。自然環境を活かし、五感を使い、遊びを広げる取り組みも行っている。土だんご作りをする泥遊びスペースも整備され併設の空き地では花壇づくりにも取り組んでいる。
			子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 24 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 25 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 26 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 27 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。 <input checked="" type="checkbox"/> 28 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 29 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 30 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 31 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。	・信州自然型保育(信州やまほいく)の普及型認定園ではないが、自然とのかかわりの中で生物や植物などの大切さや尊さを学び、自分で興味関心を持ち、自分で考え、自立心が育つようにと支援している。職員の中で、読育、食育、環境、運動遊びの係分担が決まっていて、担当者を中心に、保育や環境整備を進めている。隣接の畑では、サツマイモ、ダイコン、キュウリ、ピーマン、トマト、ラディッシュなどを栽培している。給食に使うなど、育てながら自然と触れ合い食の体験もしている。野菜の栽培を通じて協力や異年齢児との交流も深まっている。野外遊び、散歩を多く取り入れている。ミニトマトは危険防止の観点から外している。園庭は広く、子どもたちが安全に遊ぶことができる。口の字型の園舎の真ん中、中庭には、桜の木があり、四季折々の姿を見ながら、季節を感じる事ができる。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1	(2)		<input checked="" type="checkbox"/>	32 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。	
				<input checked="" type="checkbox"/>	33 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。	
		乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a)	<input checked="" type="checkbox"/>	34 0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。	<ul style="list-style-type: none"> ・床にはソフトマットが敷かれ、水道周りや空気清浄機周りにも段ボールで危険がないような工夫がされている。 ・うまく遊べない子供には抱っこしてもらいながら参加している。 ・手作りの音の出るおもちゃやトンネル型の遊具、部屋を広くハイハイできるように、ベビーベットの下のくぐれり発達に即した工夫がされている。 ・家庭とは連絡ノートやお迎え時等に連絡を取っている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	35 0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係（情緒の安定）が持てるよう配慮している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	36 子どもの表情を大切にし、応答的な関わりをしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	37 0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	38 0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	39 0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。				
		3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a)	<input checked="" type="checkbox"/>	40 一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分であろうとする気持ちを尊重している。	<ul style="list-style-type: none"> ・中庭には大きな木があり、子供たちが汽車の遊具に入って喜んで遊ぶ姿が印象的だったが、砂場では身長にあった木のいすやテーブルでおままごっこ遊びで自発的な活動を行っている。 ・壁面にはどんぐりに色を付けてころがした作品が飾らていた。それぞれが、思い思いの遊びをしていた。 ・散歩などの屋外の活動も多く、自然と地域の方々との交流となっている。コロナウィルスの発生前は老人クラブとの交流、小学校の行事などにも参加している。 ・家庭とは連絡ノートやお迎え時等に連絡を取り相談できる体制を構築している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	41 探索活動が十分に行えるような環境を整備している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	42 子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	43 子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	44 保育士等が、友だちとの関わりの中立ちをしている。				

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1	(2)		<input checked="" type="checkbox"/>	45 様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。	
				<input checked="" type="checkbox"/>	46 一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。	
		3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a)	<input checked="" type="checkbox"/>	47 3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。	・年齢別の保育目標を定め、指導計画を作成し、保育を行っている。3歳児は園生活が初めての社会体験の場所となる子どももいるので保育士や友達と遊ぶ中で、自分のしたいこと、言いたいことを言葉や行動で表現するよう、働きかけている。4歳児は基本的生活習慣をしっかり身につけ、友達とのかかわりを大切に、集団としての行動ができるようにすることを目指している。5歳児はのびのびと生活しながら、就学を前に自分で考えて行動でき、友達とも協力ができるよう援助している。生活や遊びの中で、達成感や充実感をみんなで味わうような保育を行っている。小学校の行事、運動会、旗拾いなどに参加している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	48 4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	49 5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	50 子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。				
		障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a)	<input checked="" type="checkbox"/>	51 建物・設備など、障がいに応じた環境整備に配慮している。	・町立保育園であり、関連機関との連携が充実している。障がいのある子どもが、他の子どもとの生活を通じて、共に成長できるような支援体制が整っている。発達支援専門員との面談、加配保育士の支援、臨床心理士等の相談の支援を受けることができる。また、こども発達支援事業所「若草園」は保護者同伴での通園、単独通園、保育園との並行通園が可能である。職員研修もされており、経験と知識を蓄積している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	52 障がいのある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	53 計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	54 子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	55 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。				

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1	(2)			<input checked="" type="checkbox"/> 56 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 57 職員は、障がいのある子どもの保育について研修等により必要な知識や情報を得ている。 <input checked="" type="checkbox"/> 58 保育所の保護者に、障がいのある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。	
			それぞれの子ども在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 59 1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 60 家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 61 町立保育園であり、関連機関との連携が充実している。障害のある子どもが、他の子どもとの生活を通じて、共に成長できるような支援体制が整っている。発達支援専門員との面談、加配保育士の支援、臨床心理士等の相談の支援を年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 62 <input checked="" type="checkbox"/> 63 子どもの在園時間や生活リズムに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 64 子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 65 担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。	<p>・長時間保育は、年齢の異なる子供たちが同じ部屋で過ごしているが、一人ひとりがゆっくり過ごせる環境としっとり遊びこめる玩具・遊具を提供し、楽しく過ごさせている。</p> <p>・担任からの担当保育士への申し送りにより、保護者のお出迎え時への伝達を確実にしている。年度末は引継書に基づいて行われている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1	(2)	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 66 計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 67 子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。 <input checked="" type="checkbox"/> 68 保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。 <input checked="" type="checkbox"/> 69 保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 70 施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。	<p>・ 町立保育園として地区内の小学校児童と年長児との交流を図り、保小連絡会で園児の様子などの情報交換を行いつつ各小学校への散歩や校内めぐりなどで相互に協力・連携し、連続性と一貫性のある教育を進めている。また、保育要録を作成し、就学時に小学校へ提示している。更に、町で行う「はぐくみサポート」や年中児対象の5歳児相談を基に、配慮する園児や家庭について情報共有を行い就学に向けて連携している。年長児は小学校の運動会、音楽会、児童会祭りなどに招待され訪問している。小学校の先生が園に来園する機会があり、入学後は保育園から職員が参観に出かけている。</p>
		(3) 健康管理	子どもの健康管理を適切に行っている。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 71 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 72 子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 73 子どもの保健に関する計画を作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 74 一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。 <input checked="" type="checkbox"/> 75 既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 76 保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 77 職員に乳幼児突然死症候群（SIDS）に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 78 保護者に対し、乳幼児突然死症候群（SIDS）に関する必要な情報提供をしている。	<p>・ 家庭での状況を調べ、感染症にり患した場合には、上伊那医師会の取り決めにより、登園許可、治癒報告、登園届を提出していただき、保育の受け入れを行っている。一人ひとりの健康状態を把握している。</p> <p>・ 園だより、クラスだよりを通じ感染症等の情報提供を行っている。感染症については入園のしおりの「感染症について」で細かく示し、保護者に伝えている。体調管理には十分注意し、何かあったときはすぐに保護者へ連絡を入れている。</p> <p>・ 一人一人の子どもの健康状態を日々把握するとともに、保護者からの情報は朝会で職員全員で共有している。</p> <p>・ 年間計画の中に年2回の歯科検診・健康診断を入れ年長児は視力検査も実施している。栄養状態については栄養士と相談している。</p> <p>・ 入園前の面談用の「お尋ね票」でSIDSの理解を確認し、必要に応じて保護者に説明している。1歳児・2歳児は15分に1回の呼吸チェックをしている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1	(3)	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 79 健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 80 健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 81 家庭での生活に生かされ、保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。	<p>・発育測定を毎月行い、結果は連絡帳などに記載し家庭にも連絡をしている。</p> <p>・健康診断・歯科検診の結果は保護者にお知らせしている。また、3歳児以上は親子で歯科指導をしている。</p>
			アレルギー・疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 82 アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 83 慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 84 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 85 食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 86 職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。 <input checked="" type="checkbox"/> 87 他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。	<p>・食物アレルギーがある場合、「アレルギー対応ガイドライン」に従い医師指示書に基づき除去食等の対応を行っている。朝礼で毎日アレルギー代替え食の確認を職員全員で行い、また、アレルギー食はお盆で識別して提供し、間違いが無いように管理している。</p>
		(4) 食事	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 88 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 89 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 90 子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 91 食器の材質や形などに配慮している。	<p>・箕輪町の「年間食育計画」に沿って、年齢ごとの食育を推進している。3歳未満児は完全給食で午前・午後のおやつを提供している。3歳児以上は「ごはん」を持参であるが、保温器で温めて、温かい食事を提供している。食事時間もゆったり1時間かけ、食べ残しを減らすように意識付けし食事量を確認している。</p> <p>・メニューは、栄養士が献立表を作成している。毎月の「給食だより」を発行し、毎日の食事のメニューは写真でホームページにわかるように取り組んでいる。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1	(4)			<input checked="" type="checkbox"/> 92 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 93 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 94 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 95 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。	
			子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 96 一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 97 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 98 食事の内容は、県産の農畜産物等を利用したものとしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 99 残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。 <input checked="" type="checkbox"/> 100 季節感のある献立となるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 101 地域の食文化や行事食などを取り入れている。 <input checked="" type="checkbox"/> 102 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 103 衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。	<p>・箕輪町として地産地消に取り組んでおり、なるべく地域の食材を取り入れるようにしている。園内の畑で栽培し、収穫した野菜も食材として活用している。</p> <p>・子どもの食事状態を保育士が感想ノートへ記入し、栄養士、調理員と連携を図っている。また、給食部会で、季節感のある献立となるように毎月検討している。</p> <p>・保護者からも「コドモン」で、家庭内の食事で気づいた点を担任に伝えている。誕生会には季節、行事により献立を考え、楽しく食べられるように工夫をしている。</p> <p>・衛生管理マニュアルに基づいて食品管理、衛生管理を行っている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	2 子育て支援	(1) 家庭との緊密な連携	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 104 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 105 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 106 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 107 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	・入園時「保育園のしおり」を配布し、保育方針、保育内容、園生活の様子を伝え、理解を得るようにしている。家庭からも「コドモン」などで生活記録を提出してもらい、個人の発育歴などを把握し、指導計画に活かしている。未満児については毎日連絡帳でお互いの様子を伝えている。また、幼児については状況に応じて送迎時に連絡を取り合い、保育参加（一日保育士）や自由参観日を設け、保護者が園での子どもの様子を見る機会を提供している。
		(2) 保護者等の支援	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 108 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 109 保護者等からの相談に応じる体制がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 110 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 111 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 112 相談内容を適切に記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 113 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。	・箕輪町では、保育支援システム「コドモン」を利用している。保護者アプリをダウンロードし、パスワード登録することにより、アプリ上で欠席・遅刻の連絡ができる。保育園からはおたより、「コドモン」、メール配信等により行われている。保護者からは連絡帳はもちろん朝夕の送迎時のコミュニケーションを大切にしている。長時間保育などで普段会話する機会のない場合には、希望個人懇談などに園側から声をかけて懇談し信頼関係につながっていくようにしている。また、子どもの変化をきちんと伝え、安心感を育てている。 ・クラス便りなどのお便りが年4回では少なすぎるという声もある。アンケートからも保育園からおたよりや連絡帳などで日々のお子さんの様子や気持ちを知ることができる割合は57%となっている。日々のコミュニケーションで保護者の信頼を築いてほしい。また「コドモン」で写真の活用も期待したい。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	2	(2)	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 114 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 115 虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 116 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 117 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 118 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 119 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 120 マニュアルにもとづく職員研修を実施している。	・「虐待防止マニュアル」があり子どもの心身の状態や家庭での養育の状況を、日々のコミュニケーションや子どもの姿から常に把握している。箕輪町子ども未来課内に「こども相談室」があり保健師・家庭相談員・発達支援専門員・教育相談員等が随時各種相談を受け付けている。また、外部研修や園内研修により、虐待等権利侵害の早期発見・早期対応をする能力の向上に努めている。
A	3 保育の質の向上	(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 121 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り（自己評価）を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 122 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 123 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 124 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 125 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 126 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。	・箕輪町の自己評価票は、専門項目が設けられており、保育士の活動に適した評価を実現している。また、各種研修などで専門性の向上に努めている。 ・日々の保育を振り返り、「コドモン」へ記入している。年間指導案、月案、週案で保育の状況を振り返り、次年度へと繋げている。毎年、町職員としての人事評価シートで自己評価(年2回)を行い、また、箕輪町立保育園共通の「保育士のための自己点検チェックリスト」で保育士としての業務の遂行状況や倫理面、接遇面などの振り返りも行っている。 ・今後は職員個別の自己評価だけでなく、職員相互の話し合い等を通じ、第三者評価項目を斟酌し保育園全体としての自己評価を行い、良いところ、努力すべき点を把握し、次のステップに向けて課題を共有し保育所全体で改善に努めていくことを期待する。